

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	利根中央病院
所在地	沼田市沼須町910番地1
沿革	1954年 利根中央診療所開設（12床） 1962年 利根中央病院第1期建設竣工（85床） 1966年 第2期建設竣工（165床） 1988年 第5期建設竣工（340床：一般292床、精神48床） 2000年 介護老人保健施設とね開設に伴う減床（340床→330床） 2011年 精神科病床閉鎖（48床減：330床→282床） 2015年 新病院開設・移転（253床：一般220床、回リハ33床） 2016年 病棟編成（253床：一般178床、地域包括42床、回リハ33床）

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	253 床	38 床	140 床	75 床	0 床	0 床
	平均在院日数	9.4 日	12.9 日	53.2 日		
	病床稼働率	89.4 %	89.8 %	99.7 %		

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	253 床	38 床	140 床	75 床	0 床	0 床	0 床

2025年に向けた病床活用の見通し	高度急性期から回復期までの病床を活用する。 急性期医療を中心とし地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟は回復期機能として活用する。 各病棟におけるリハビリテーション機能の充実を図る。
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	34 科（内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、脳神経外科、泌尿器科、リハビリ科、病理診断科、麻酔科、放射線科等）
------	---

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	群馬大学医学部附属病院	竹内医院	沼田病院
主な紹介先医療機関	群馬大学医学部附属病院	渋川医療センター	上牧温泉病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 救急医療	地域完結型の医療を目指し「断らない救急」を掲げている。2019年度は二次医療圏の救急搬送55.8% (2,379件) 受入れ、不可率1.2%、敷地内ヘリポートは6件の受け入れを行った。 内科系、外科系、産婦人科の当直医を配置し、24時間365日、救急医療および緊急手術に対応できる体制を整えている。県立小児医療センターと協力して北毛地域の小児救急輪番制に参加している。
特徴的な 総合診療	医師の集約化が進む中で、医療過疎地域を支える総合診療科の役割は大きい。専門科と連携した体制構築をすすめ、各科専門医が少数または不在の中で広範囲な診療分野に対応し、救急医療にも貢献している。病院総合医に限らず在宅医療への対応等も含め、地域ニーズに対応できる研修体制がある。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での健康班会・健康講話等、保健予防活動にとりくみ、住民との共同で病気の早期発見・早期治療の啓発活動を推進している。</li> <li>・地域の中核病院として住民の医療要求に応えられる診療体制を目指している。</li> <li>・臨床研修病院として臨床研修評価機構（JCEP）の認証を受け、地域医療に根ざした総合的な視点もった医師研修を提供している。</li> <li>・北毛地域の分娩施設が当院のみになり、地域の周産期医療を守る使命がある。</li> <li>・災害拠点病院として緊急時に必要な医療が提供できるよう、DMAT隊を中心に年1回の大規模災害訓練の実施やスタッフ養成を行っている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症患者および疑い患者受け入れに対応している。</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次医療圏内の高度急性期医療を維持できるよう努める。</li> <li>・地域包括ケアシステムの役割として、地域のかかりつけ医を支援できる体制を構築する。</li> <li>・北毛地域でお産と小児の入院ができる唯一の病院として、産科および小児科の入院医療が継続できるよう、自治体連携も強化しながら医師体制の維持をはかる。</li> <li>・当地域は広範な面積であり、在宅分野に携わる医師も少なく在宅死亡率が県内で最も低い。在宅診療が担える医師を養成したい。</li> </ul>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすい外来、断らない入院、選ばれる病院をスローガンに掲げています。お金のあるなしに関わらず必要な治療を受けていただくため、差額ベット料は一切徴収しておりません。生活困難な方への支援として無料低額診療事業を行っています。</li> <li>・医師不足の地域ではありますが、地域完結型の医療を目指して医師の確保と養成に努力しています。</li> <li>・生活協同組合の病院として、各医療機関・介護施設・福祉機関、自治体等と連携しながら、地域で安心して暮らし続けられるまちづくりに貢献いたします。</li> </ul>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人社団ほたか会 群馬パーパス病院
所在地	群馬県利根郡川場村生品1861
沿革	昭和53年：病院開設（51床） 昭和54年：7床増床（58床） 昭和55年：34床増床（92床） 昭和56年：48床増床（140床） 昭和57年：10床増床（150床） 昭和57年：12床増床（162床） 昭和59年：32床増床（194床） 昭和61年：28床増床（222床） 昭和63年：19床増床（241床） 平成元年：10床減床（231床） 平成14年：一般病棟（52床）・療養病棟（179床）合計231床 平成25年：病棟再編 一般病棟（55床）・療養病棟（144床）合計199床 平成28年：一般病棟（23床）・地、域包括ケア病床（32床）・療養病棟（144床）合計199床 現在に至る

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	199 床	0 床	55 床	0 床	144 床	0 床
平均在院日数(※1)		日 23.5 日		日 185.3 日		
病床稼働率(※2)		% 85.1 %		% 91.5 %		

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	199 床	0 床	55 床	0 床	144 床	0 床	0 床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も急性期医療と慢性期医療を提供するケアミックス病院として、急性期医療を終えた患者様の受入れを行い、機能回復を図り、在宅復帰を目指すとともに、在宅復帰が困難な患者様や在宅系施設からの紹介受入れを継続し、現在の一般病棟と地域包括ケア病床、療養病棟を維持していきます。
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	8 科（内科、外科、循環器科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、精神科、麻酔科）
------	---

現在	がん	〇	脳卒中	〇	心血管疾患	〇	糖尿病	〇	精神疾患	〇	在宅医療
	救急	〇	災害	〇	へき地	〇	周産期	〇	小児	〇	その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック・生活習慣病予防健診・オーダーメイド基準値健診等各種健康診断、予防接種								



将来 (2025年)	がん	〇	脳卒中	〇	心血管疾患	〇	糖尿病	〇	精神疾患	〇	在宅医療
	救急	〇	災害	〇	へき地	〇	周産期	〇	小児	〇	その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック・生活習慣病予防健診・オーダーメイド基準値健診等各種健康診断、予防接種								

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	利根中央病院	沼田脳神経外科循環器科病院	国立病院機構沼田病院
主な紹介先医療機関	利根中央病院	沼田脳神経外科循環器科病院	国立病院機構沼田病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な  ケアミックス病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期医療を提供する一般病棟・在宅復帰に取り組む地域包括ケア病床・急性期の治療を終えた患者様に継続的な医療を提供する療養病棟を持ったケアミックス病院です。</li> <li>療養病棟には、介護福祉士の資格を持った職員を配置し、患者様の介護を行っています。</li> </ul>
特徴的な  高齢者医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の高齢者医療を支える病院として、地域の病院、診療所、訪問看護ステーション、関連施設等の連携によって、入院の受入れから在宅復帰への取組みを多職種協働によって総合的に行っています。</li> <li>入院療養中の患者様には、楽しく過ごしていただきながら、残存機能を維持できるように、介護福祉士とリハビリ職員が協力して療養生活の充実させる活動を実施しています。</li> </ul>

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>急性期医療を提供する一般病棟・在宅復帰に取り組む地域包括ケア病床・急性期の治療を終えた患者様に継続的な医療を提供する療養病棟があります。療養病棟は、高齢者で医療依存度の高い患者様の終末期医療を支える役割を担い、患者様・ご家族様が望む医療・看護・介護の提供を行っています。</li> <li>入院は、医療機関からの受入れ入院だけでなく、在宅系施設からの緊急入院や透析患者の入院受入れも行っています。</li> <li>人間ドックや生活習慣病予防健診・各種健診・オーダーメイド基準値健診を行い、病気の早期発見や早期治療にも取り組んでいます。</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の慢性期医療を担う病院として、質の高い医療・看護・介護サービスの提供を行い、高齢者の終末期医療を充実させ、地域から信頼され、必要とされる病院を目指していきます。</li> <li>医療依存度・介護依存度の高い患者様の在宅復帰に向けて、リハビリテーションや訪問看護ステーションと連携をし、総合的に支援を実施していきます。</li> <li>在宅系施設の患者様の看取り体制の構築を実施していきます。</li> <li>人間ドックや生活習慣病予防健診・各種健診・オーダーメイド基準値健診を今後とも実施していき、病気の早期発見や早期治療にも取り組んでいきます。</li> <li>地域の行政機関と連携をし、高齢者のフレイル対策に取り組んでいきます。</li> <li>認知症患者の受入れ体制を整備し、専門的なケアを行っていきます。</li> </ul>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>慢性期医療と終末期医療を担う病院として、患者様・ご家族様の要望に沿った医療・看護・介護サービスを提供し、地域の皆さまから必要・信頼される病院を目指していきます。</li> </ul>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人大誠会内田病院
所在地	〒378-005 群馬県沼田市久屋原町345-1
沿革	<p>昭和51年：内田外科医院を開院</p> <p>昭和63年：内田病院(一般病棟49床、特例許可老人病棟50床)を開設、老人保健施設「大誠苑」開設</p> <p>平成7年：在宅介護支援センター、訪問看護ステーションを開設</p> <p>平成10年：特例許可老人病棟を療養病棟に変更</p> <p>平成11年：居宅介護支援事業所を開設</p> <p>平成12年：訪問介護ヘルパーステーションを開設</p> <p>平成13年：療養病棟を介護療養病棟に変更、グループホーム「ゆうゆう・うちだ」を開設</p> <p>平成15年：介護療養病棟から特殊疾患療養病棟に変更</p> <p>平成17年：群馬県広域リハビリテーションセンターうちだを開設</p> <p>平成19年：特殊疾患療養病棟から医療療養病棟に変更</p> <p>平成20年：一般病棟を障害者施設等一般病棟へ変更</p> <p>平成22年：群馬県の委託を受け群馬県認知症疾患医療センターを開設</p> <p>平成25年：サービス付き高齢者向け住宅「メディカルマイホーム」を開設</p> <p>平成26年：障害者施設等一般病棟のうち8床を地域包括ケア病床へ変更、医療療養病棟を回復期リハビリテーション病棟に変更</p> <p>平成27年：障害者施設等一般病棟を37床とし、地域包括ケア病床を12床に増床</p> <p>令和元年：障害者施設等一般病棟を33床とし、地域包括ケア病床を16床に増床</p>

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	99 床	床	49 床	50 床	床	床
平均在院日数	日	40.0 日	78.2 日	日	日	
病床稼働率	%	100.0 %	99.0 %	%	%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	99 床	床	49 床	50 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	<p>認知症を中心とした地域の高齢者医療を担っていく。認知症の急性増悪への対応や介護者の負担軽減(レスパイトケア)、また、認知症以外にも、在宅や施設で療養する高齢者、障害者、難病患者、近隣病院で急性期治療を終えた患者などの治療やリハビリテーション、終末期など、地域で発生する様々な医療ニーズに対し幅広く対応できるようにし、これらの方々が住み慣れた地域で安心して暮らせるようサポートしていく。</p>
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	11 科 ( 内科・老年内科・小児科・肛門外科・外科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・皮膚科・リハビリテーション科・麻酔科 )
------	---

現在	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		認知症、リハビリテーション			



将来 (2025年)	<input type="checkbox"/> がん	<input type="checkbox"/> 脳卒中	<input type="checkbox"/> 心血管疾患	<input type="checkbox"/> 糖尿病	<input type="checkbox"/> 精神疾患	<input type="checkbox"/> 在宅医療
	<input type="checkbox"/> 救急	<input type="checkbox"/> 災害	<input type="checkbox"/> へき地	<input type="checkbox"/> 周産期	<input type="checkbox"/> 小児	<input type="checkbox"/> その他
	「その他」の具体的な機能		認知症、リハビリテーション			

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	沼田脳神経外科循環器科病院	利根中央病院	国立沼田病院
主な紹介先医療機関	沼田脳神経外科循環器科病院	利根中央病院	国立沼田病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 認知症ケア	身体拘束は一切行わない。疾患ではなく患者自身にフォーカスを当てる「パーソンセンタードケア」と「脳活性化リハ5原則」を組み合わせた認知症ケアである「大誠会スタイル」を実践することで、重度であってもほとんどの患者が入院1週間でBPSDの大幅な軽減を認めている(NPI-Qによる評価では84%の患者で低下し、入院時の4割程度まで減少)。認知症専門医、認知症看護認定看護師、臨床心理士等を中心とした認知症サポートチーム(DST)が積極的に活動し、病棟スタッフのサポートやケアの質の管理を行っている。
特徴的な リハビリテーション・在宅復帰支援	認知症がある患者でも、認知症がない患者と同等のリハビリ効果を発揮している(在院日数、FIM利得、在宅復帰率等)。病棟に看護師、リハビリだけでなく介護福祉士、歯科衛生士、相談員を常勤配置することで、退院後の生活を見据えた包括的なサポートを行っている。さらに、老健や特養、グループホーム、サ高住、訪問看護介護等、退院後の様々な選択肢を有することで、医療介護連携による無理のない、切れ目のない退院後の生活支援を行っている。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症ケアが最大の強みであり、20年間培ってきた身体拘束ゼロでBPSDを早期に軽減し、在宅復帰を実現するノウハウを実践することで、群馬県認知症患者医療センターとして精神科がない沼田二次保健医療圏における認知症医療をフォローしている。</li> <li>・ また、患者の生活を踏まえ、認知症の患者や高齢者の負担をより軽減できるよう、在宅系施設、訪問系サービスを有し、入院、施設、在宅もしくは医療、介護のそれぞれをシームレスにサポートしている。</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進展する高齢化による認知症の増加、高齢患者の増加の中で、これまでのノウハウをさらに発展させ、認知症や高齢患者のQOLを高めるようなケアや療養環境を提供する。</li> <li>・ さらに、これらの患者が医療や介護サービスを受けるだけでなく、社会の活力となるよう、本人の可能性を引き出すような取り組みを行っていく。</li> <li>・ 同時に、認知症や高齢患者を地域住民が受け入れやすくなるよう、これまで10年以上に渡って取り組んできた小学校への認知症講習や認知症見守りネットワークなどの啓発活動を引き続き展開していく。</li> <li>・ 超高齢社会の中で、認知症の患者だけでなく地域住民が誰でも安心して生活できるようなまちづくりに、医療機関、介護施設の複合体として取り組んでいく。</li> </ul>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>超高齢社会を迎えたわが国にとって、認知症はとても身近で大きな課題となっていますが、認知症に関する正しい知識と適切な対応により、認知症による症状や介護者の負担を軽減することは可能です。認知症の症状がどれほど重度であっても、当院では一切の身体拘束をせず、その人らしさを引き出せるようなケアを実践していきます。外来での相談や入院対応、介護施設での療養、在宅サービスの活用など、さまざまな方法でご本人とご家族にとって最も良い療養が送れるようサポートしていきます。</p>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年 3月時点】

医療機関名	沼田脳神経外科循環器科病院
所在地	群馬県沼田市栄町8番地
沿革	昭和57年 西松医院（有床診療所）開設 昭和58年 沼田脳神経外科に名称変更 昭和60年 35床に増床し沼田脳神経外科病院に名称変更 昭和61年 医療法人社団輝城会に改組、病床数66床へ 平成元年 救急医療告示病院 平成4年 沼田脳神経外科循環器科病院に名称変更 平成21年 「救急医療」により社会医療法人の認可を受ける 平成22年 一般病床10床増床、合計84床 平成23年 社会医療法人の認定要件に「へき地医療」を追加 平成27年 へき地医療拠点病院の指定 平成31年 医療法人社団高仁会を社会医療法人輝城会に吸収合併

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計					休棟中等
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期		
	84床	床	84床	床	床	床
	平均在院日数(※1)	日	15.8日	日	日	日
	病床稼働率(※2)	%	100.0%	%	%	%

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計					廃止	介護保険施設等への移行
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期			
	84床	床	84床	床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	へき地を含んだ北毛地域における脳卒中・循環器病対策の拠点病院となるべく、一次脳卒中センター機能や心疾患に対する専門医療提供体制を維持する。さらに今後はハイクアユニットや脳卒中ケアユニットの整備も視野に入れ、急性期病床のさらなる機能強化を目指す。リハビリテーションにおいては、急性期のリハビリテーションはもとより訪問リハビリテーションや通所リハビリテーションといった在宅リハビリテーションについても引き続き注力する。
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	19科（脳神経外科、脳神経内科、脊髄・脊髄外科、心血管外科、循環器外科、循環器内科、外科、内科、腎臓内科、消化器外科、消化器内科、眼科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科、婦人科、リウマチ科、救急科、麻酔科）
------	---

現在	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、人工透析、人間ドック等健康診断									



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中	○	心血管疾患	○	糖尿病	○	精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、人工透析、人間ドック等健康診断									

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	沼田クリニック	吾妻脳神経外科循環器科	国立病院機構沼田病院
主な紹介先医療機関	沼田クリニック	吾妻脳神経外科循環器科	群馬リハビリテーション病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 救急体制	<p>救急を断らない姿勢を開業当初から現在まで引き継いでおり、医療圏の30%以上の受け入れを行っている。直近3年間においても救急車の応需率は99%以上を維持している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年 救急受入1543件 受入不可7件 受入率99.5%</li> <li>・2020年 救急受入1265件 受入不可0件 受入率100%</li> <li>・2021年 救急受入1299件 受入不可2件 受入率99.9%</li> </ul> <p>(群馬県統合型医療情報システムデータより)</p>
特徴的な 専門医療 (脳卒中・循環器疾患)	<p>医療資源が少ない中山間地域である北毛地域のなかで、特に脳卒中や心疾患等に対する救急医療や緊急手術に24時間365日対応可能な体制を整えている。令和元年9月から脳梗塞に対して血栓回収療法やtPA静注療法が24時間365日実施可能な施設として日本脳卒中学会より一次脳卒中センターの認定を受けている。また、急性期の脳血管リハビリ・心大血管リハビリテーションにも力を入れている。</p>

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>当院の運営法人である社会医療法人輝城会は、当院の「救急医療」ならびに「へき地医療」への取り組みについて、民間の医療法人でありながら、一定の公益性を持つ社会医療法人の認定を受けている。</p> <p>「地域に不可欠な病院であり続けます」  「高度な医療を温かい心で提供します」  「充実感と活力に満ちた組織運営を追求します」</p> <p>という3つの基本理念のもと、24時間365日断らない救急を実践するとともに、特に脳と心臓血管に対する専門医療を提供し、地域完結型医療に邁進している。</p>
当院の未来像	<p>今後も北毛地域における24時間365日断らない救急医療を原点とし、脳と心臓に対する高い専門医療を提供しながらも、行政や医師会とタイアップしながら、地域の実情に応じた柔軟な医療提供体制を整え、社会医療法人としての公益性を追求したい。</p>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>心筋梗塞・脳卒中のような、一分・一秒が命に関係する病気に対して、県央地域に搬送することなく北毛地域で完結できる適切な治療体制を築いてまいりました。今後も「すべては地域のために」を合言葉に、地域に不可欠な病院であり続けたいと思います。</p>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年 3月時点】

医療機関名	医療法人 高德会 上牧温泉病院
所在地	群馬県利根郡みなかみ町石倉198-2
沿革	昭和56年 2月：89床にて開院 平成21年 8月：76床に病床数を変更 平成24年 7月：人工関節センターを開設し下肢人工関節手術を開始 平成26年 9月：一般病棟内に地域包括ケア病床15床を開設 平成30年 5月：地域包括ケア病床を30床に増床 現在に至る

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数 (一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	76 床	0 床	40 床	36 床	0 床	0 床
平均在院日数		日 9.2	日 19.6	日	日	
病床稼働率		% 99.9	% 99.8	%	%	

※1 在棟患者延べ数(年間) / ((新規入棟患者数(年間) + 退棟患者数(年間)) / 2)

※2 在棟患者延べ数(年間) / 許可病床数(現在) / 365

※3 在棟患者延べ数(年間)、新規入棟患者数(年間)、退棟患者数(年間)は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	76 床	0 床	40 床	36 床	0 床	0 床	0 床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も人工関節手術及びリハビリテーションを提供していくとともに、実質的に回復期機能を担っている療養病棟を地域包括ケア病棟とし、リハビリテーション機能の充実、在宅や併設施設等からの迅速な受け入れを通して地域包括ケアシステムの一翼を担っていく。
-------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	3 科 ( 内科、整形外科、リハビリテーション科 )
------	----------------------------

現在	がん	○	脳卒中		心血管疾患		糖尿病		精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション									



将来 (2025年)	がん	○	脳卒中		心血管疾患		糖尿病		精神疾患	○	在宅医療
	救急	○	災害	○	へき地		周産期		小児	○	その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション									

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	利根中央病院	沼田脳神経外科循環器科病院	日本大学病院
主な紹介先医療機関	利根中央病院	沼田脳神経外科循環器科病院	日本大学病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な  人工関節センター	当院では日本人のサイズに合うように国産で開発された人工関節や、より生理的な関節に近いデザインの人工関節（Guided motion TKA）、可能な限り小さな皮切で行う手技（Minimally invasive surgery: MIS）、部分人工関節置換術など、最新の手技、インプラントを用いて年間約200件の手術を行っている。
特徴的な  リハビリテーション	患者さんの身体の機能低下から由来する様々な問題を解決するリハビリテーションは、様々な技術と方法で構成されており、問題解決能力を高めるためにはコミュニケーション能力・質問力・論理的思考能力・発想力と様々な能力が必要である。当院では人間力を高めることが、よりよいリハビリテーションの提供であると考え、ひとつの技術に固執することなく、効果を出せる方法を広く模索しながら治療を行っている。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<p>&lt;内科&gt; 併設施設入所者の病状悪化時の対応をはじめ、胃カメラ、大腸カメラなどの消化器内視鏡検査・治療、糖尿病内分泌専門外来や健康教室などを行っている。</p> <p>&lt;整形外科&gt; 膝関節治療に力を入れており、人工関節手術や骨切り術等の手術治療も可能である。スポーツ等によるケガでは、半月板や靭帯再建など内視鏡を使った傷の少ない手術で、早期復帰ができるよう取り組んでいる。</p> <p>&lt;リハビリテーション科&gt; 術前、術後の他にも腰痛、肩痛、頸痛はもちろんのこと、脳卒中後の様々な症状に対するリハビリテーションを行っている。</p>
当院の未来像	<p>高齢者人口の増加が予想される今後において、安心してリハビリテーションを行っていただけるようにスタッフ一同治療を行います。現段階でも関東圏内で有数の膝関節手術件数を行っていますが、今後も手術件数のみでなく安全な質の高い最新の手術治療が行えるよう心がけています。整形外科部門では関節、スポーツ、脊椎、リウマチの特殊外来を充実させます。またアンチエイジング外来における再生医療も拡大していく予定です。</p> <p>内科部門では胃カメラ、大腸カメラなどの消化器内視鏡検査及び治療、糖尿病内分泌専門外来や健康教室などを引き続き行っていきます。</p>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<p>上牧温泉病院では整形外科、脳神経外科、神経内科領域すべてのリハビリテーションを中、長期入院および外来通院にて行うことが可能です。また膝関節の変形に対する人工関節手術、スポーツによる半月板や靭帯損傷に対する手術など膝関節、股関節、下肢全般への治療を中心に広く行っています。</p> <p>また、胃カメラ、大腸カメラなどの消化器内視鏡検査及び治療、糖尿病内分泌専門外来など内科診療も行っております。</p>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【 2024 年 3 月時点】

医療機関名	医療法人パテラ会 月夜野病院
所在地	群馬県利根郡みなかみ町真庭316番地
沿革	昭和43年 桜井整形外科にて開業 昭和43年 救急診療所に認定 昭和47年 医療法人パテラ会設立 昭和56年 月夜野病院に名称変更（45床） 昭和56年 第2次救急医療体制による病院輪番制病院 昭和56年 救急医療告示病院に認定 昭和58年 5床増床（50床） 昭和61年 1床減少（49床） 昭和61年 11床増床（60床） 昭和63年 20床増床（80床） 平成27年 ヘルパーステーションさくらぼ開設 平成27年 みなし訪問看護事業開始 平成28年 月夜野訪問看護ステーションさくらぼ開設 平成28年 新病院完成移転（一般病棟32床、回復期リハビリテーション病棟40床）介護事業所新築（居宅支援、訪問看護、訪問介護）有料老人ホーム花水月開所（25床）

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	72 床	床	32 床	40 床	床	床
平均在院日数		13.3 日	60.2 日			
病床稼働率		92.8 %	99.8 %			

※1 在棟患者延べ数（年間） / （（新規入棟患者数（年間） + 退棟患者数（年間）） / 2）

※2 在棟患者延べ数（年間） / 許可病床数（現在） / 365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	72 床	床	32 床	40 床	床	床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も地域の中核病院として救急医療の提供をしていくとともに、救急医療を終えた患者に対するリハビリテーションを継続的に提供する。
-------------------	---

## 3. 医療機能について

診療科目	16 科（内科、呼吸器内科、消化器内科、胃腸内科、糖尿病内科、内分泌内科、内視鏡内科、外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、アレルギー科、リウマチ科、皮膚科、リハビリテーション科、眼科）
------	---

現在	○ がん	○ 脳卒中	○ 心血管疾患	○ 糖尿病	○ 精神疾患	○ 在宅医療
	○ 救急	○ 災害	○ へき地	○ 周産期	○ 小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック等健康診断			



将来 (2025年)	○ がん	○ 脳卒中	○ 心血管疾患	○ 糖尿病	○ 精神疾患	○ 在宅医療
	○ 救急	○ 災害	○ へき地	○ 周産期	○ 小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能		リハビリテーション、人間ドック等健康診断			

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	沼田脳神経外科循環器科病院	中山診療所	竹内医院
主な紹介先医療機関	沼田脳神経外科循環器科病院	利根中央病院	中山診療所

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 救急	開院より第2次救急医療体制による病院輪番制病院として地域の内科、外科、整形外科の疾患の救急対応にあたり、昨年は181台の救急車に対応している。
特徴的な 医療介護連携	救急とリハビリテーション間のスムーズな移行を図るために、急性期病院からの受け入れとリハビリによる機能回復に力を入れ、在宅復帰及び介護施設とも連携を図っている。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの早期発見のため人間ドック、健康診断等に力を入れて取り組み早期治療に心がけ、質の高い医療を提供している。</li> <li>・リハビリテーションにより機能回復に心がけ、社会復帰及び在宅への支援、介護施設との連携を図っている。</li> <li>・救急の患者様の他に、軽症な患者様に対しても迅速な対応を行うように心がけており、地域のかかりつけ病院として対応している。</li> <li>・地域包括システム構築に向けて訪問看護・訪問介護・訪問リハビリ部門を立ち上げ在宅での支援体制を整えている。</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携をさらに図り地域完結型の医療を目指す。</li> <li>・人間ドック、健康診断等の部門の更なる充実を図り、病気の早期発見に貢献できるように力を入れる。</li> <li>・救急医療からリハビリテーションならびに介護への切れ目のない医療介護連携を構築する。</li> <li>・有料老人ホーム等の充実を図ると共に、訪問系の部門の強化を目指す。</li> </ul>
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胃がん、大腸がんの早期発見のために「がん検診」を受けましょう。</li> <li>・当院では胃の内視鏡検査は経鼻内視鏡での検査が可能です。</li> <li>・痔や脱腸などの手術も行っています。</li> <li>・リハビリテーションならびに在宅医療、訪問看護に力を入れて取り組んでいます。</li> <li>・地域の皆様に安心して安全な医療の提供をしていきます。</li> </ul>

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人 久保産婦人科医院
所在地	群馬県沼田市高橋場町2031-4
沿革	創立 昭和46年 開院 改築 平成11年～

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	11 床	床	床	床	床	11 床
	平均在院日数	日	日	日	日	
	病床稼働率	%	%	%	%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設 等への移行
	床	床	床	床	床	床	11 床

2025年に向けた 病床活用の 見通し	
---------------------------	--

## 3. 医療機能について

診療科目	1 科 (産婦人科)
------	------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	○ へき地	○ 周産期	○ 小児	その他
	「その他」の具体的な機能					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	○ へき地	○ 周産期	○ 小児	その他
	「その他」の具体的な機能					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	利根中央病院	県立小児医療センター	群馬大学附属病院
主な紹介先医療機関			

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 	女性のライフステージに寄り添った医療を提供しているとともに、男性、子供も含め健康増進を図っていきます。
特徴的な 	

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>●妊婦健診も含めた産前産後ケア</li> <li>●婦人科疾患、女性の悩み、避妊、産み分け、アンチエイジング（美容や疾病予防）</li> <li>●予防接種（大人、子供）</li> <li>●更年期障害</li> </ul>
当院の未来像	健康寿命を延ばせるような医療を目指します。
その他 (県民・受診者へのメッセージ等)	女性はそれぞれのライフステージにおいて、悩みを持っています。一人で悩まず、気軽に相談してください。また、男女問わずアンチエイジングを目指し、栄養管理や点滴、サプリメントの処方を行っております。

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医)順愛会 角田外科医院
所在地	群馬県沼田市上原町1555-3
沿革	昭和42年、開院(有床診療所：19床)。 平成3年、併設老人保健施設；恵寿の園開設：50床

## 2. 病床について (病床機能ごとの病床数(一般・療養))

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19床	床	床	床	19床	床
	平均在院日数	日	日	日	28.8日	
	病床稼働率	%	%	%	65.6%	



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	廃止	介護保険施設等への移行
	19床	床	床	床	床	19床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	現在の形を踏襲する見込み。
-------------------	---------------

## 3. 医療機能について

診療科目	6科 ( 外科、整形外科、リハビリテーション科、内科、内視鏡科、皮膚科 )
------	---------------------------------------

現在	○ がん	脳卒中	心血管疾患	○ 糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、健康診断				



将来 (2025年)	○ がん	脳卒中	心血管疾患	○ 糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地	周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	リハビリテーション、健康診断、美容皮膚科、乳腺科				

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関			
主な紹介先医療機関	NHO沼田病院	利根中央病院	沼田脳神経外科循環器科病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な プライマリーケア	個人の有床診療所であるが、プライマリーケア医として幅広く診療し、地域に密着した医療機関。必要に応じて専門医へ紹介。
特徴的な 健診体制	数多くの企業健診、産業医活動を通じての健診等を行っている。

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	地域に密着した医療機関として、健診・外来診療・入院治療等を行っている。
当院の未来像	整形外科・皮膚科・乳腺科の後継者がおり、現在のプライマリーケアに加えて、手術等も含めてより専門性の高い医療の提供を目指してゆきたい。
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	いつまでも地域住民・患者さんに寄り添う医療・介護の提供をしていきたいと思えます。

# 2025年への対応方針

## 1. 基本情報

【2024年3月時点】

医療機関名	医療法人社団日高会白根クリニック
所在地	群馬県沼田市薄根町3300-1
沿革	昭和61年：無床にて開院 昭和63年：一般病床（慢性期）19床にて開院

## 2. 病床について（病床機能ごとの病床数（一般・療養））

現在	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
	19床	床	床	床	床	19床
	平均在院日数	日	日	日	129.3日	
	病床稼働率	%	%	%	67.6%	

※1 在棟患者延べ数（年間）／（（新規入棟患者数（年間）＋退棟患者数（年間））／2）

※2 在棟患者延べ数（年間）／許可病床数（現在）／365

※3 在棟患者延べ数（年間）、新規入棟患者数（年間）、退棟患者数（年間）は直近の病床機能報告で報告した数値を使用してください。



将来 (2025年)	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	介護保険施設等への移行
	19床	床	床	床	床	19床	床

2025年に向けた病床活用の見通し	今後も人工透析医療又内科・泌尿器科診療を提供していく。
-------------------	-----------------------------

## 3. 医療機能について

診療科目	2科（内科・泌尿器科）
------	-------------

現在	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	人工透析・健康診断（個人・事業所・市委託）等					



将来 (2025年)	がん	脳卒中	心血管疾患	○	糖尿病	精神疾患	在宅医療
	救急	災害	へき地		周産期	小児	○ その他
	「その他」の具体的な機能	人工透析・健康診断（個人・事業所・市委託）等					

#### 4. 連携している医療機関について

主な紹介元医療機関	日高病院	利根中央病院	沼田脳神経外科循環器科病院
主な紹介先医療機関	日高病院	利根中央病院	沼田病院

#### 5. 当院の特徴について

特徴的な 人工透析医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工透析患者を中心とした、日高会（日高病院・日高リハビリテーション病院）より、急性期後の全身管理を念頭に受け入れを行っている。</li> <li>他医療機関からの導入・保存期管理等受け入れている。</li> </ul>
特徴的な	

#### 6. 現状と今後の方針等

当院の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工透析中患者の予後不良者又合併症発症後の経過観察とともに、急性期、専門病院への紹介をして、延命努力を図っている。</li> <li>重症度の高い患者の入所待機者の受け入れを行っている。</li> <li>特別養護老人保健施設の協力病院として、利用者の受け入れを行っている。</li> </ul>
当院の未来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記現状を継続していく。</li> <li>開始時期は未定ですが、在宅医療の取り組みを行う。</li> </ul>
その他 (県民・受診者への メッセージ等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者様を第一に適切な医療を提供していく。</li> <li>人工透析患者様へ、総合的に提供を図る。(医療・介護の連携強化)</li> </ul>